

EU リスクアセスメント 5月に最終判定



EU の RoHS (電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限) 指令によって禁止される特定臭素系難燃剤のうち、EU リスクアセスメントの結論が出ていなかったデカ BDE (十臭化ジフェニルエーテル) の最終判定が今年 5 月に欧州委員会環境総局から出される見通しとなりました。

RoHS 指令によって、鉛・カドミウム・水銀・六価クロム・PBB (ポリ臭化ビフェニル)・PBDE (ポリ臭化ジフェニルエーテル) については 2006 年 7 月以降に販売される製品に含有してはなりません。これまでに PBB 類と PBDE のうちペンタ BDE (五臭化ジフェニルエーテル)、オクタ BDE (八臭化 DE) については EU リスクアセスメントの結果、使用禁止が確定されまして、生物蓄積性の低いデカ BDE のみが未判定でした。

難燃剤には臭素系、リン系、塩素系などがありますが、臭素系はコストパフォーマンスが高く、プラスチックを劣化させにくいことから広く使用されてきました。しかし、焼却時に臭素系ダイオキシン類が発生することなどから、EU でも使用の是非が問われるようになりました。

化学物質のリスクアセスメントは、残留性・生物蓄積性・慢性毒性が構成要素となります。デカ BDE は難分解性を有しつつも生物蓄積性が低いため、8 年の長期にわたってリスク管理のあり方が議論されてきました。今回、EU リスクアセスメントの結論が出される見通しとなったことで、長年の議論に決着がつくこととなります。

資料:2004 年 3 月 10 日付 化学工業日報 p.12

機器分析箇所 市川 雅俊

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第 20 条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

